

# CASBEE® 京都-新築

# 標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	飛驒運輸(株)京都支店	階数	地上2F
建設地	京都府京都市伏見区向島上五反田	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	50人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,380時間/年
建物用途	事務所, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年1月 予定	評価の実施日	2013年7月22日
敷地面積	6,302 m <sup>2</sup>	作成者	竹中建築設計事務所
建築面積	2,309 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,309 m <sup>2</sup>	確認者	〇〇〇

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%  
②建築物の取組み 89%  
③上記+②以外の 87%  
④上記+ 87%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.4

**Q1 室内環境** Q1のスコア = 2.6

**Q2 サービス性能** Q2のスコア = 2.9

**Q3 室外環境(敷地内)** Q3のスコア = 1.9

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.2

**LR1 エネルギー** LR1のスコア = 3.7

**LR2 資源・マテリアル** LR2のスコア = 3.0

**LR3 敷地外環境** LR3のスコア = 2.8

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
近隣の交通や環境に配慮した計画としている。	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。	
<b>Q1 室内環境</b> 開口部に遮音性能が高いサッシT-2を使用し、防音に配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> ゆとりのある階高、天井高とし、快適性・維持管理に配慮した計画としている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
<b>LR1 エネルギー</b> 太陽光発電設備を設置し、自然エネルギーの有効利用を図った。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 解体、改修時に躯体と仕上げ材が容易に分別出来るよう配慮した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される